

# 平成29年産 秋冬野菜の需給・価格の実績

## 〈 目 次 〉

### 【主要品目】

- ① 冬キャベツ . . . . . P. 2
- ② 秋冬だいこん . . . . . P. 4
- ③ たまねぎ . . . . . P. 6
- ④ 冬にんじん . . . . . P. 8
- ⑤ 秋冬はくさい . . . . . P. 10
- ⑥ 冬レタス . . . . . P. 12

### 【その他品目（参考）】

- ⑦ きゅうり . . . . . P. 14
- ⑧ トマト . . . . . P. 16
- ⑨ ねぎ . . . . . P. 18

## 1. 平成29年産冬キャベツの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
冬キャベツ (11～2月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年内は平年並み、1月及び2月は塩害等の影響により平年を下回る見込み。3月は播き直しの関係で平年を上回る見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 炒め物等の加熱調理やサラダ等の安定した需要に加え、簡便ニーズを受けたカットキャベツの需要も家計消費用、業務用ともに堅調と考えられることから、需要の増加を見込む。 なお、10月の長雨・日照不足、台風の影響が年明け以降、顕在化することが懸念され、その場合には、価格上昇による買い控えも想定される。</li> <li>● 茨城の加工業務用野菜については、契約による調達割合が上昇傾向。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カットキャベツの需要の増加が見込まれるものの、11月及び12月の出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。1月及び2月は、塩害等の影響により出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。3月は、播き直しの関係で出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、主産地である茨城産が、10月の台風後の曇雨天の影響で一時的な減少はあったものの、他の主産地において生育が概ね順調であったことから、入荷量は平年をやや上回った。</li> <li>● 12月から2月は、主産地である千葉産及び愛知産が、10月の台風の影響により値張りが弱く、その後の気温低下による生育遅れもあったことから、入荷量は、12月は平年をやや下回り、1月は平年をかなり大きく下回り、2月は平年を大幅に下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:92%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、入荷量が平年を上回っているものの業務筋等の引きが強かったことから、価格は平年をかなりの程度上回った。</li> <li>● 12月から2月は、平年を大幅に上回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:156%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産冬キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

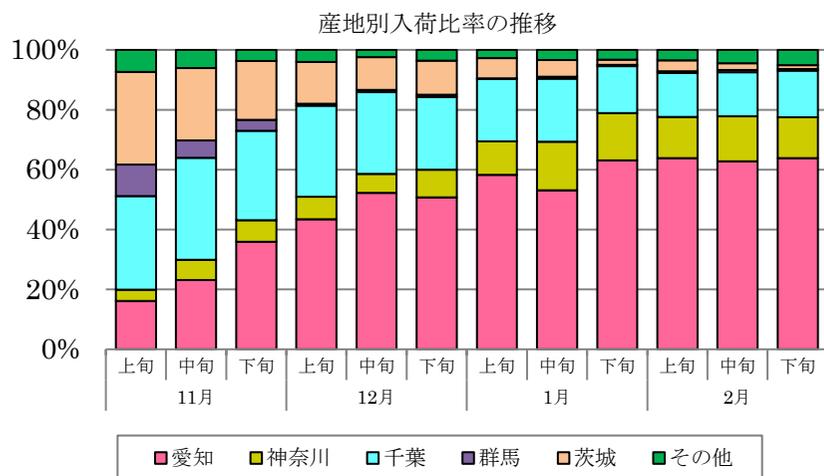
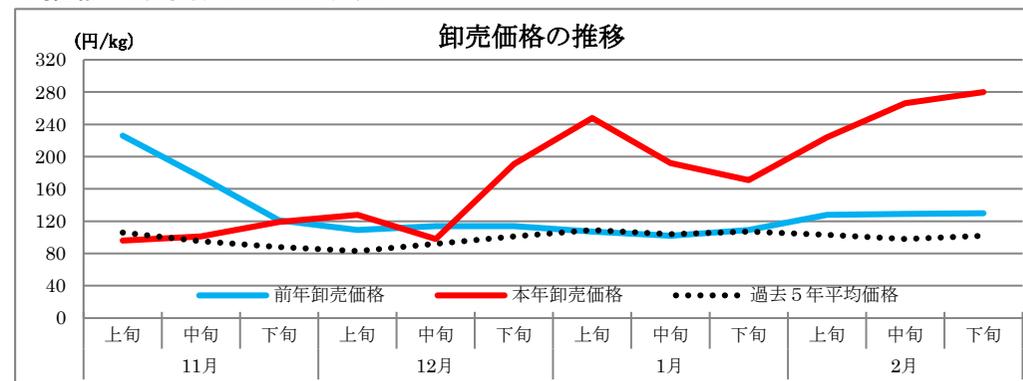
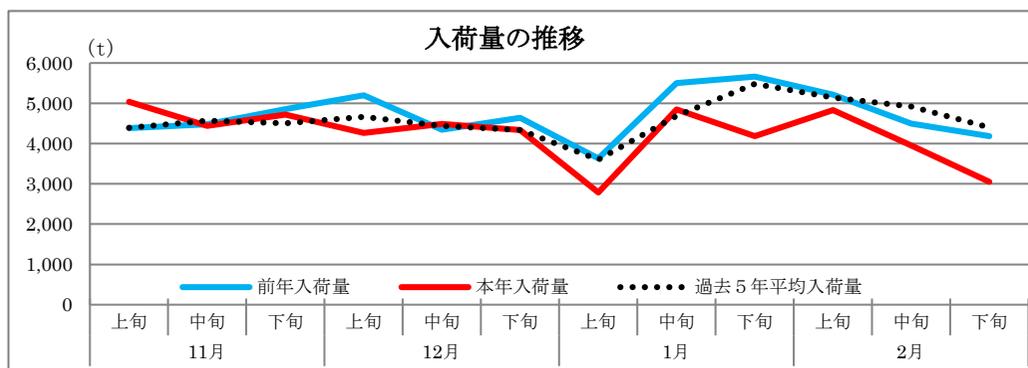
入荷量対比 (%)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	115	99	97	82	103	93	77	88	74	93	88	73	90
	103			92			80			85			
過去5年平均比	115	97	105	91	101	100	77	103	76	94	80	69	92
	105			97			86			82			

卸売価格対比 (%)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬										
前年比	42	58	98	117	86	168	232	188	157	175	206	215	121
	61			138			187			195			
過去5年平均比	91	106	135	154	107	189	228	185	160	217	271	275	156
	109			145			187			250			

(参考2) 平成29年産冬キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

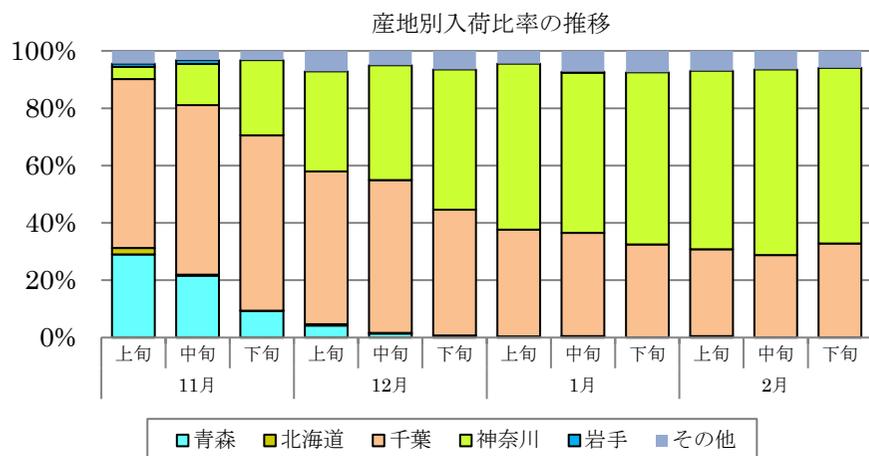
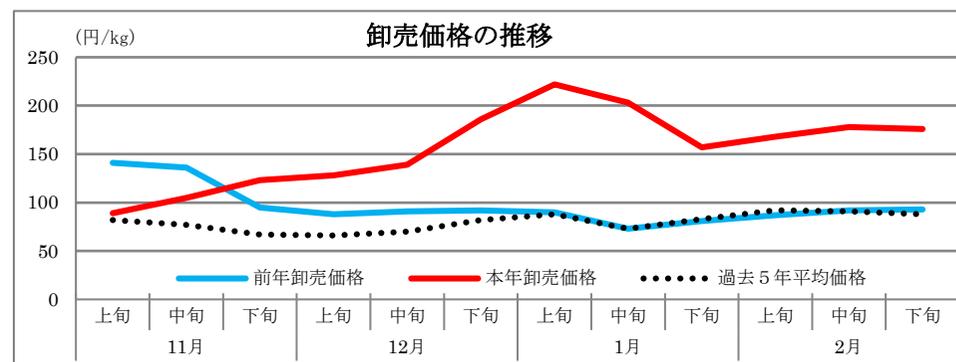
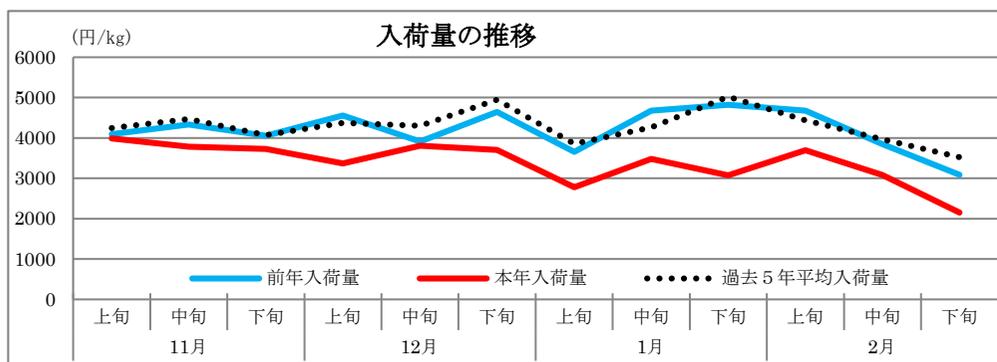
## 2. 平成29年産秋冬だいこんの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
秋冬だいこん (11～2月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は塩害等の影響により平年を下回る見込み、3月は播き直しの影響で平年を上回る見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● おでんをはじめとする鍋物需要も増加すると考えられることから、需要の増加を見込む。 なお、10月の長雨・日照不足、台風の影響が顕在化して価格が上昇した場合には、買い控えが懸念される。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋物需要の増加が見込まれる中で、11月から2月は、塩害等に影響により出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。ただし、下位等級品の出荷割合が高まった場合には、12月から2月までの価格は 平年並みとなる可能性。3月は、播き直しの関係で出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は、主産地の千葉産が、10月の長雨・日照不足により生育が遅れたことに加え、同月の台風により塩害が発生したことから、入荷量は、11月及び12月は平年をかなりの程度下回り、1月から2月は平年を大幅に下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年を大幅に下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:79%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:191%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産秋冬だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)													卸売価格対比 (%)														
	11月			12月			1月			2月			期間計		11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬										
前年比	97	87	92	74	97	80	76	74	64	79	80	70	81	前年比	63	77	129	145	153	202	247	278	194	193	193	189	159
過去5年平均比	94	85	92	77	89	75	72	82	61	83	78	61	79	過去5年平均比	109	136	184	194	199	227	252	278	189	183	196	200	191
	92			83			71			77				85			168			241			159				
	90			80			71			75				138			207			238			192				

(参考2) 平成29年産秋冬だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

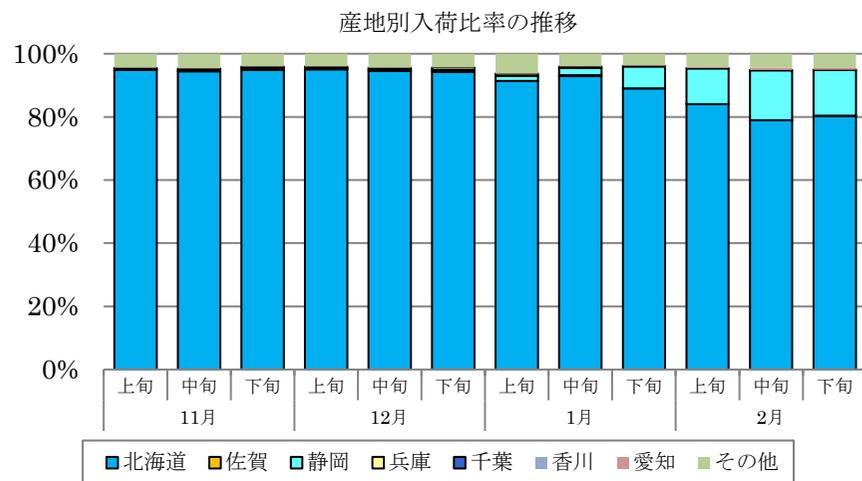
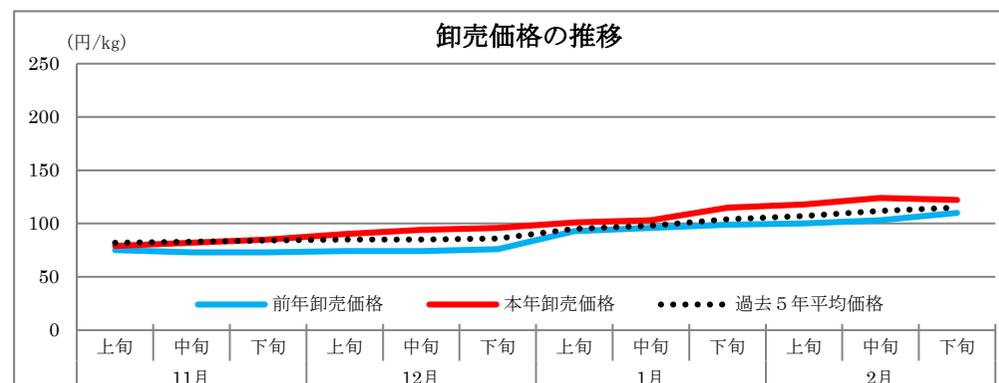
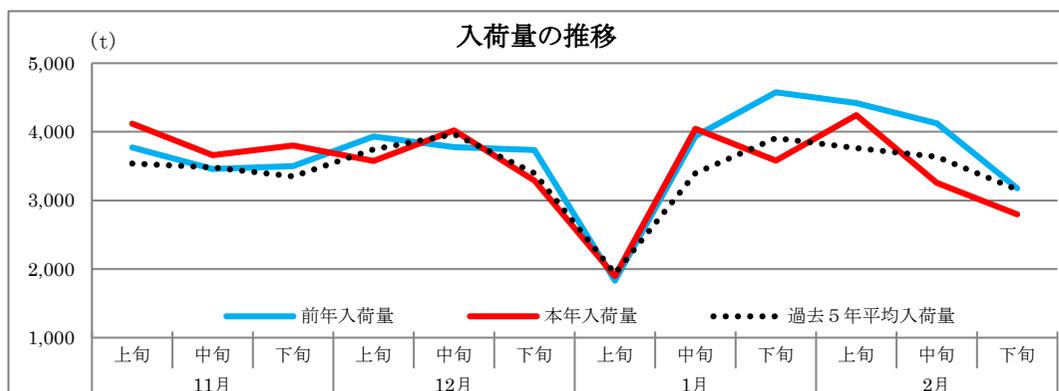
### 3. 平成29年産たまねぎの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
<p>たまねぎ (11～2月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から3月まで平年並みの見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 炒め物等の加熱調理用を始め、幅広く使える常備野菜であることを踏まえ、需要は平年並みを見込む。</li> <li>● 加工用の剥きたまねぎについては、国内の豊凶に係わらず、一定の需要がある。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要は平年並みが見込まれる中で、11月から3月まで、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主産地である北海道産が、豊作基調となる中で、入荷量は、11月は平年をかなり大きく上回り、12月は平年をわずかに下回り、1月は平年をやや上回り、2月は平年をわずかに下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:102%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は平年をわずかに下回った。</li> <li>● 12月から2月は、平年をかなりの程度上回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:106%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)													卸売価格対比 (%)														
	11月			12月			1月			2月			期間計		11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	109	106	109	91	106	88	104	103	78	96	79	88	96	前年比	105	112	116	122	127	126	109	107	116	118	120	111	114
過去5年平均比	116	105	113	96	101	97	98	119	92	113	90	88			102	過去5年平均比	96	99	101	106	111	112	106	105	111	110	
	108			95			92			88				111			124			110			114				
	112			98			103			98				99			109			107			106				

(参考2) 平成29年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

#### 4. 平成29年産冬にんじんの需給・価格の実績

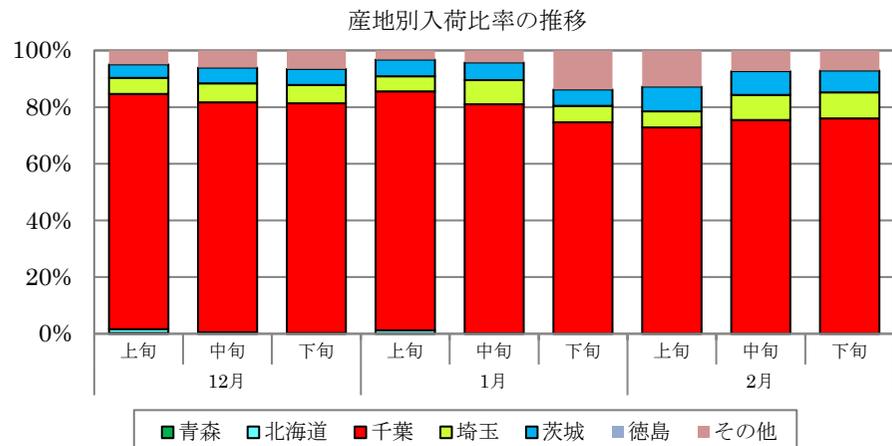
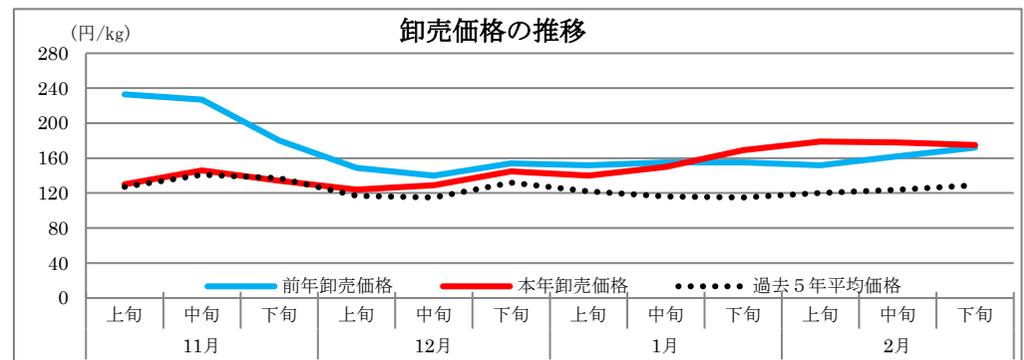
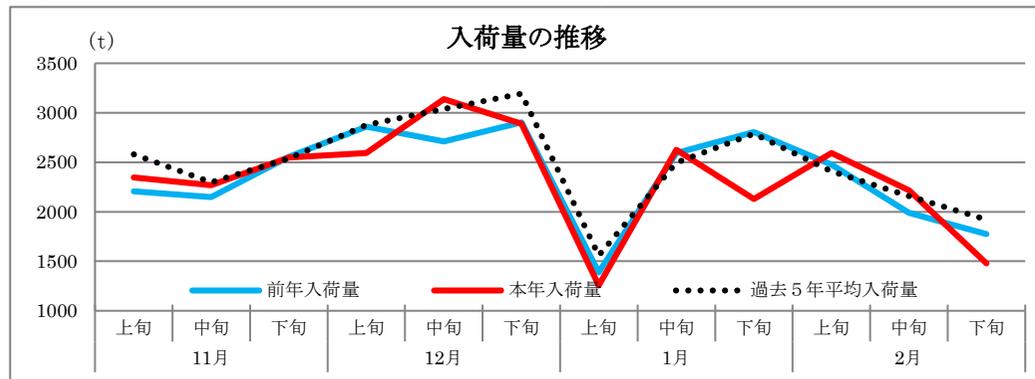
	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
<p>冬にんじん (11～2月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月まで平年並みの見込みであるが、台風による病害や品質低下等が発生して平年を下回る可能性はある。3月は長雨の影響で播種が遅れた影響から平年を下回る見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 炒め物等の加熱調理用を始め、幅広く使える常備野菜であることを踏まえ、需要は平年並みを見込む。なお、10月の長雨・日照不足、台風の影響が顕在化して価格が上昇した場合には、買い控えが懸念される。</li> <li>● 加工業務用向けは、関東産の生育遅れ等の関係で歩留まりが悪く、中国産が増加する可能性。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要は平年並みが見込まれる中で、11月から2月まで、出荷は概ね平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。ただし、下位等級品の出荷割合が高まった場合には、12月から2月までの価格は平年並みとなる可能性。3月は、長雨の影響で播種が遅れた影響から出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主産地である千葉産が、10月の長雨・台風の影響により生育遅れや塩害が発生したことから、入荷量は、11月及び12月はやや下回り、1月は平年をかなり大きく下回り、2月は平年をかなりの程度下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなり程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:94%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、平年をわずかに上回った。</li> <li>● 12月は、平年をかなりの程度上回った。</li> <li>● 1月及び2月は、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:120%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産冬にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	106	106	100	91	116	100	90	101	76	105	111	83	99
過去5年平均比	104			102			89			99			
	91	99	100	90	103	90	81	105	76	108	103	77	
	97			95			88			94			

	卸売価格対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	56	64	74	83	92	94	92	97	109	118	110	102	89
過去5年平均比	65			90			99			111			
	102	104	98	106	112	110	115	129	147	149	144	136	
	102			109			132			144			

(参考2) 平成29年産冬にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

## 5. 平成29年産秋冬はくさいの需給・価格の実績

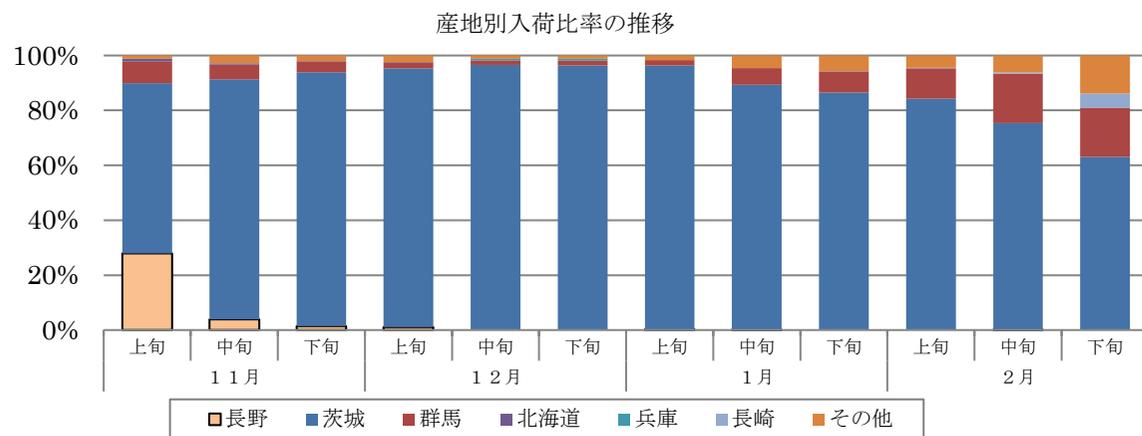
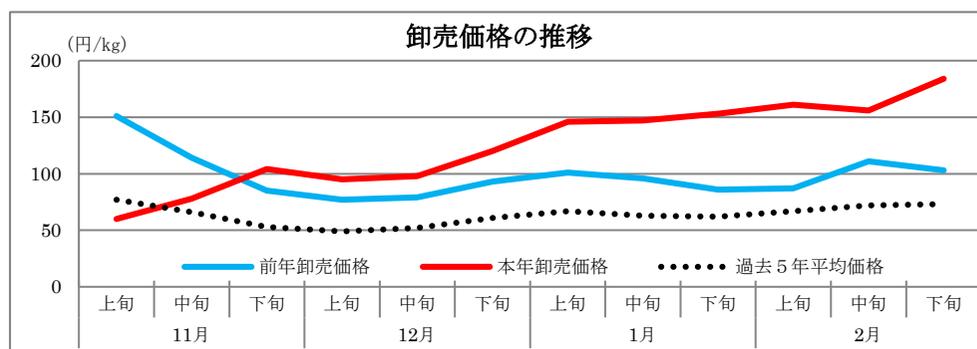
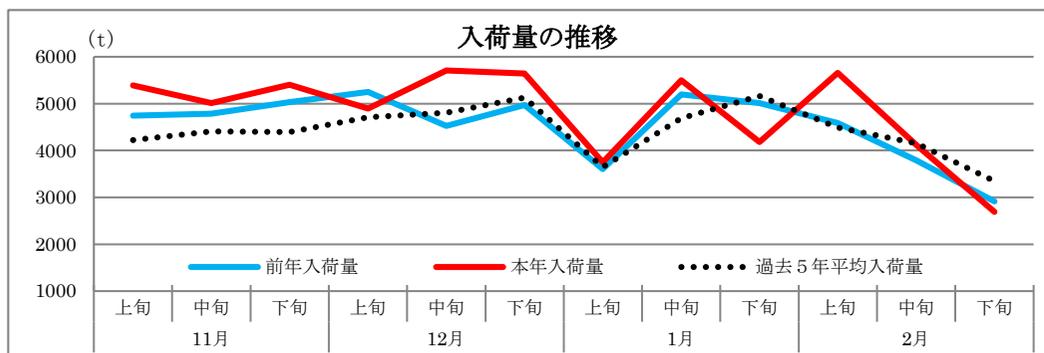
	前回の委員会(2911.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
秋冬はくさい (11～2月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から3月まで平年並みを見込む。ただし、台風による病害や品質低下等が発生した場合には年明け以降、平年を下回る可能性。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋物需要も増加すると考えられることから、需要の増加を見込む。なお、10月の長雨・日照不足、台風の影響が年明け以降、顕在化することが懸念される場合には、価格上昇による買い控えも想定される。</li> <li>● 台風21号の影響を受けて、加工業務用の契約割合が上昇。また、一部の業者においては、春はくさいの産地に早めに作付けするようお願いしている動きがある。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋需要の増加が見込まれる中で、11月から3月まで、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。ただし、台風による病害や品質低下等が発生して出荷が減少した場合には、12月以降、平年を上回る可能性。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 主産地である茨城産が、10月に長雨・台風により、冠水、外葉の痛み等が発生したものの、豊作基調であったことから、入荷量は、11月は平年を大幅に上回り、12月は平年をかなり大きく上回り、1月は平年並、2月は平年をやや上回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなり大きく上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:109%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は、業務筋等の引きが強かったことから、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:193%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産秋冬はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	114	105	107	93	126	114	104	106	83	123	109	92	107
過去5年平均比	109			110			97			110			
過去5年平均比	128	114	123	104	119	110	103	117	81	126	99	80	
	121			111			100			104			

	11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬										
前年比	40	68	122	123	124	129	145	153	178	185	141	179	124
過去5年平均比	70			127			160			166			
過去5年平均比	78	118	196	194	188	197	218	233	247	240	217	252	
	125			194			237			231			

(参考2) 平成29年産秋冬はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

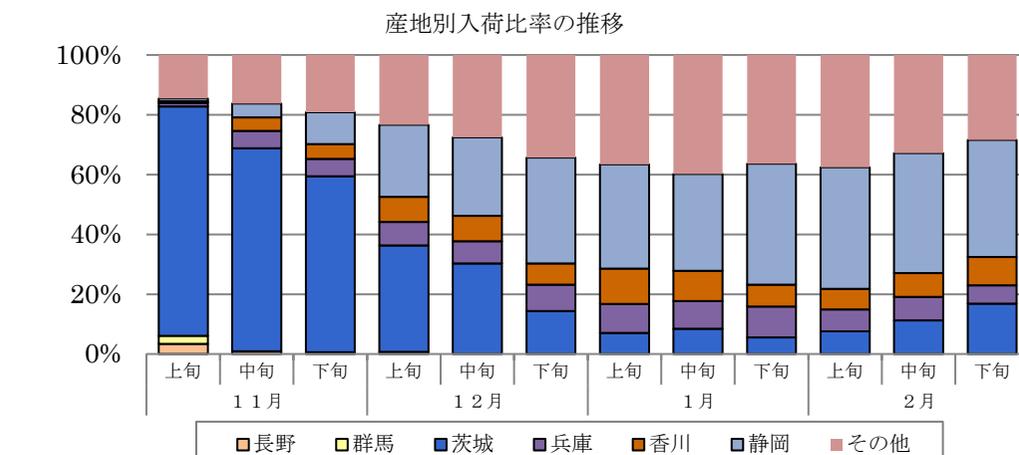
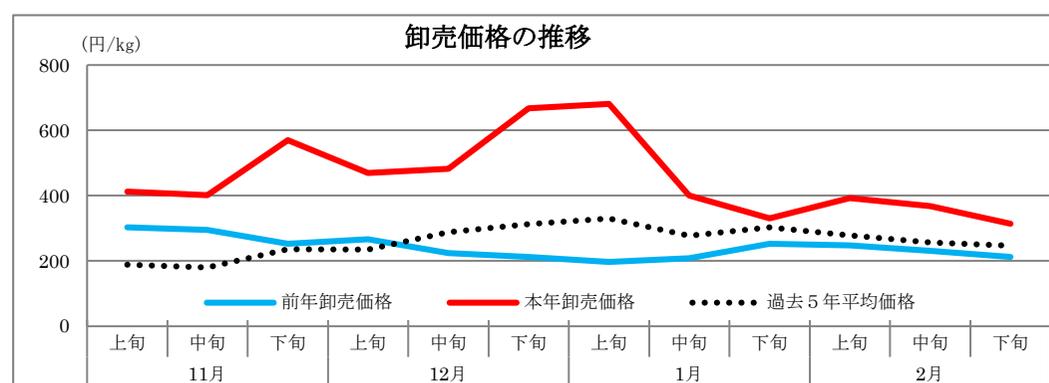
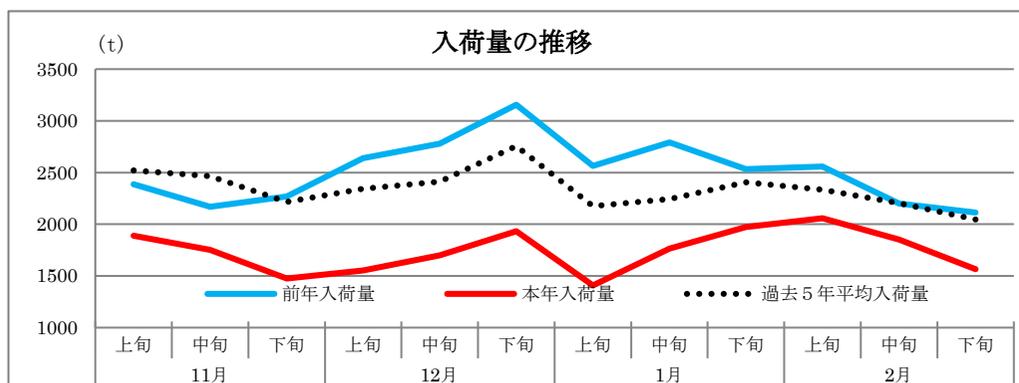
## 6. 平成29年産の冬レタス需給・価格の実績

	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
冬レタス (11～2月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年内は、茨城産が主産地であり台風による病害や品質低下等が考えられることから平年を下回る見込みであり、1月以降は平年並みの見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サラダ及びカット野菜の需要が安定していると考えられることから、需要は平年並みを見込む。</li> <li>● 12月の需要期に減少することが見込まれることから、一部に米国産、台湾産を手配している業者もある。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要は平年並みが見込まれる中で、11月及び12月は、出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。1月以降は、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月及び12月は、主産地である茨城産が、10月の長雨・台風により、痛みが発生したことから、入荷量は平年を大幅に下回った。</li> <li>● 1月及び2月は、主産地である静岡産が、10月の長雨・台風による定植遅れに加え、その後の低温により生育が遅れたことから、入荷量は平年を大幅に下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年を大幅に下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:75%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:167%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産冬レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)													卸売価格対比 (%)														
	11月			12月			1月			2月			期間計		11月			12月			1月			2月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬										
前年比	79	81	65	59	61	61	55	63	78	80	84	74	69	前年比	136	136	225	176	215	315	346	192	130	158	159	148	188
過去5年平均比	75	71	67	66	70	70	65	79	82	88	84	77	75	過去5年平均比	218	223	242	200	167	213	206	144	109	141	143	127	167
	75			60			65			80				160			235			205			157				
	74			69			75			83				192			195			149			139				

(参考2) 平成29年産冬レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

7. その他品目の需給・価格の実績

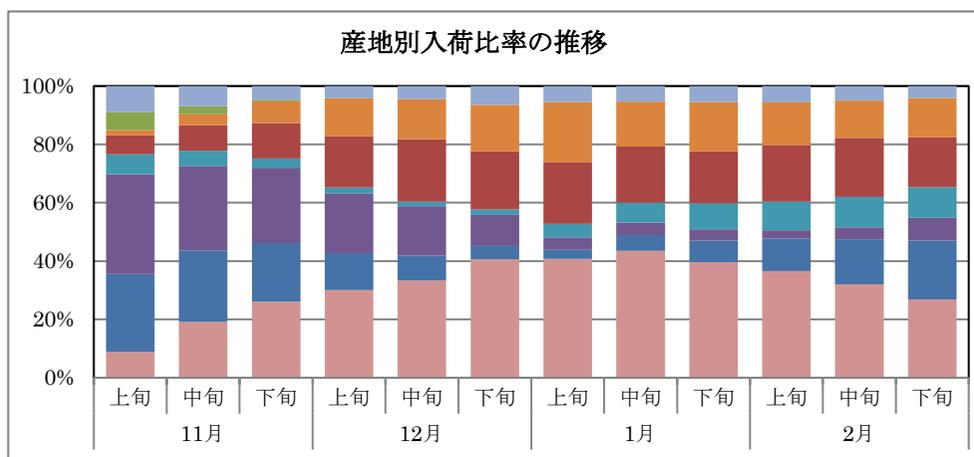
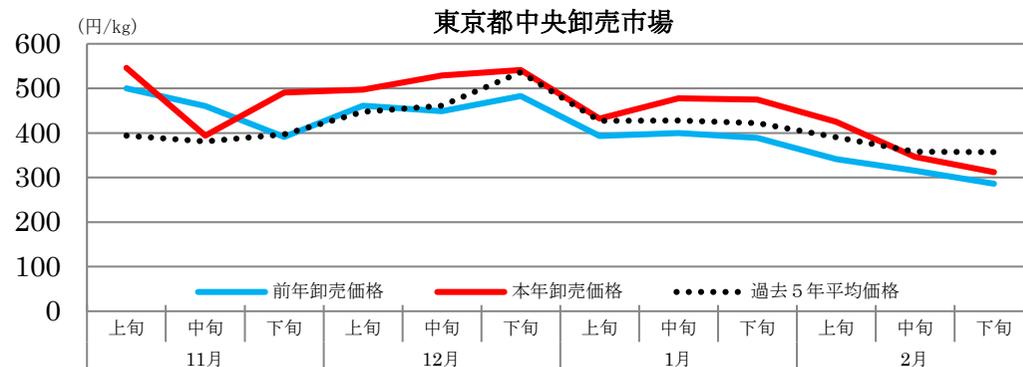
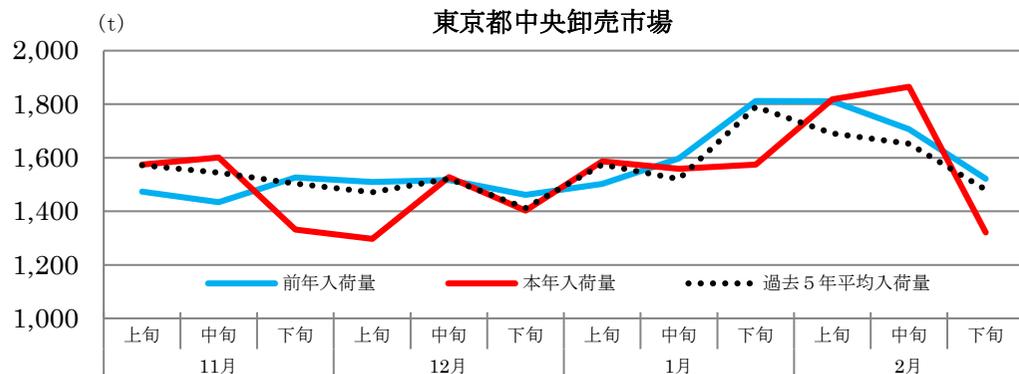
	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
<p>きゅうり (11～2月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年内、年明けともに平年並みの見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サラダ需要が安定していると考えられることから、需要は平年並みを見込む。</li> <li>● 加工メーカーや仲卸は、昨今の価格が高水準になったことに伴い損失を出しており、売り込みに消極的になっていることから、今後市場等における引き合いは弱まる可能性。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要は平年並みが見込まれる中で、11月から3月まで、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、主産地である埼玉産が、10月の長雨・台風の影響により生育の遅れがあったことから、入荷量は平年をわずかに下回った。</li> <li>● 12月から1月は、主産地である高知産及び宮崎産が、日照不足により生育が遅れたことから、入荷量は平年をやや下回った。</li> <li>● 2月は、主産地である埼玉産が、生育が概ね順調となったことから、入荷量は平年をやや上回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をわずかに下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:99%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、平年を大幅に上回った。</li> <li>● 12月及び1月は、平年をかなりの程度上回った。</li> <li>● 2月は、平年をわずかに下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:109%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産きゅうりの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	107	112	87	86	101	96	106	98	87	100	109	87	98
過去5年平均比	102			94			96			99			
	100	104	89	88	100	99	101	103	88	108	113	89	
	98			96			97			104			

	卸売価格対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	109	86	126	108	118	112	110	120	122	125	110	109	113
過去5年平均比	106			113			117			116			
	139	103	124	111	115	101	101	112	113	109	97	87	
	122			109			109			99			

(参考2) 平成29年産きゅうりの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

## 8. その他品目の需給・価格の実績

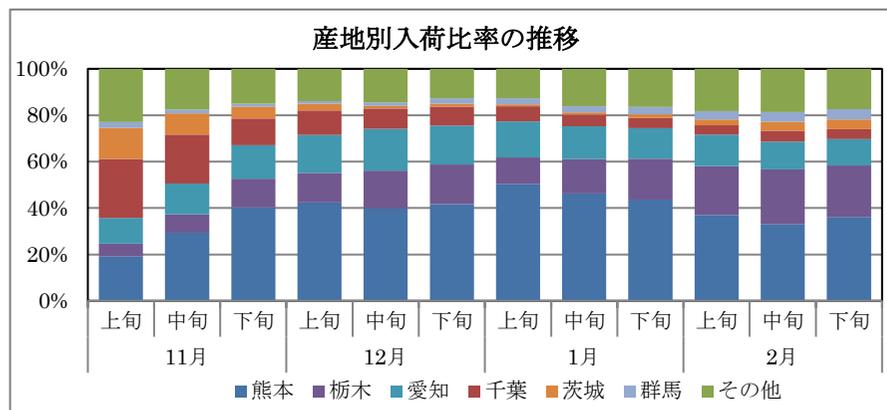
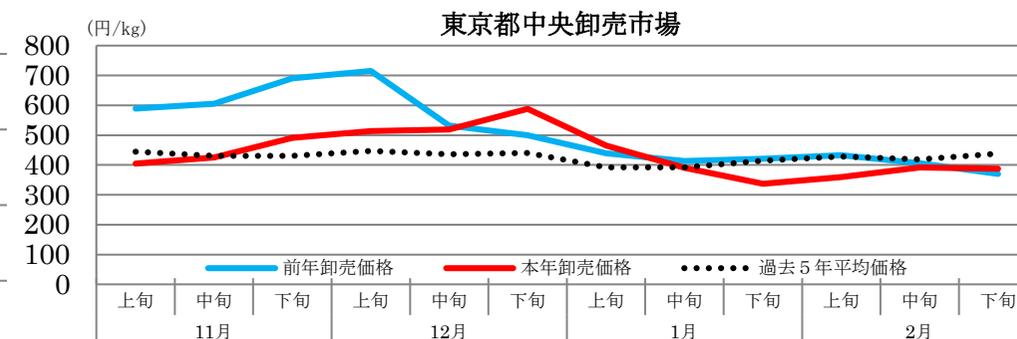
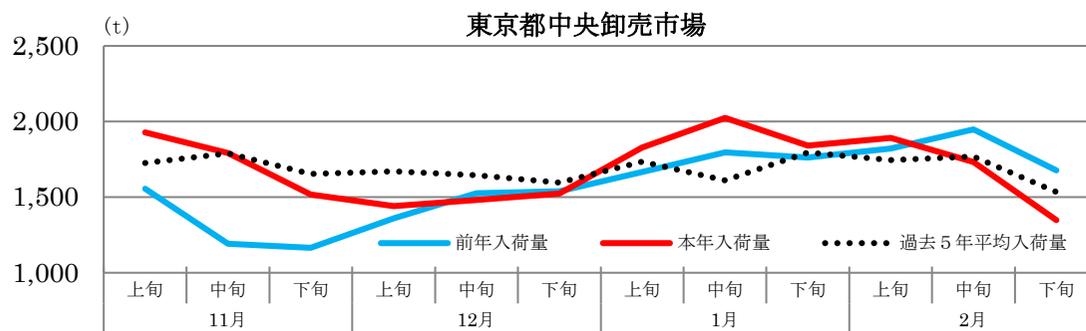
	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
<p>トマト (11～2月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年内、年明けともに平年並みの見込み。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大玉トマトの需要は減少しているものの、ミニトマトの需要が堅調であることや、ホットメニューでの消費も考えられることから、需要は平年並みを見込む。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 需要は平年並みが見込まれる中で、11月から3月まで、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、主産地である千葉産及び熊本産が、生育が概ね順調となったことから、入荷量は平年をわずかに上回った。</li> <li>● 12月は、主産地である愛知産及び熊本産が、低温で着色不足が発生したこと等から、入荷量は平年をかなりの程度下回った。</li> <li>● 1月は、主産地である熊本産が、作柄は良く玉太りも概ね順調であったことから、入荷量は平年をかなり大きく上回った。</li> <li>● 2月は、主産地である栃木産が、低温による影響が若干あったことから、入荷量は平年をわずかに下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年並となった。</li> </ul> <p>(11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:100%)</p> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、平年並となった。</li> <li>● 12月は、平年を大幅に上回った。</li> <li>● 1月は、平年をわずかに下回った。</li> <li>● 2月は、平年をかなり大きく下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。</li> </ul> <p>(11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:107%)</p>

(参考1) 平成29年産トマトの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	124	150	130	106	97	99	110	113	104	104	89	80	107
過去5年平均比	112	100	92	86	90	95	105	126	103	108	98	88	
	134			101			109			91			
	101			91			111			98			

	卸売価格対比 (%)												期間計
	11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	69	70	71	72	98	118	106	95	80	83	97	105	88
過去5年平均比	91	99	114	115	119	134	119	100	81	84	94	88	
	70			94			94			94			
	100			123			99			88			

(参考2) 平成29年産トマトの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

9. その他品目の需給・価格の実績

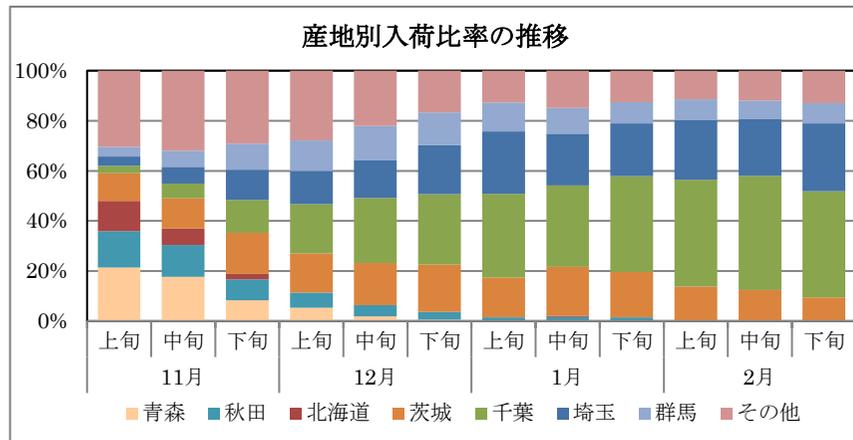
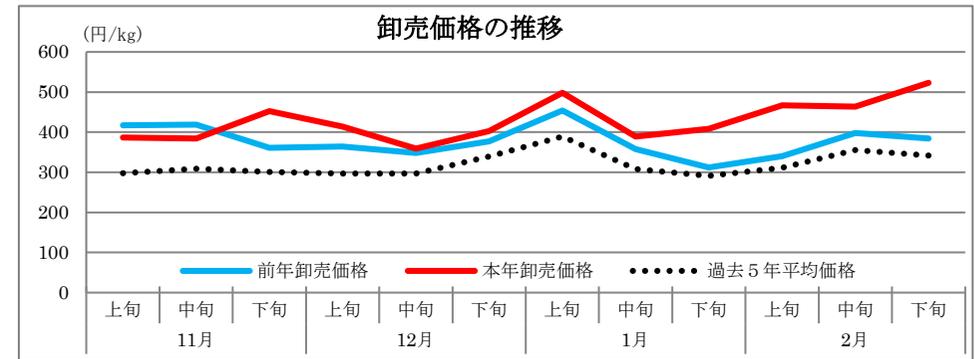
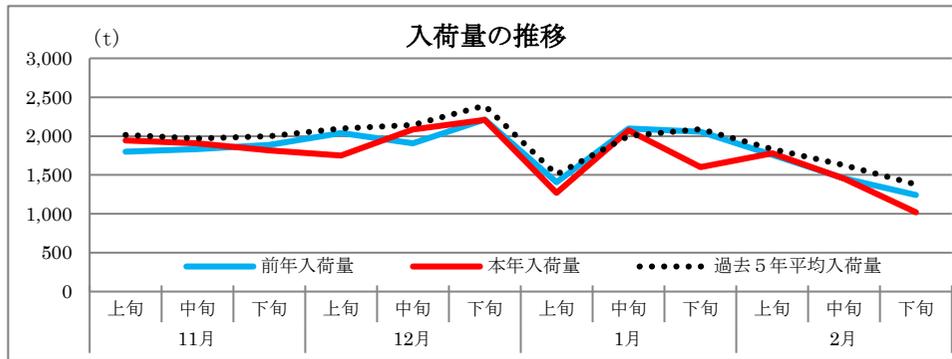
	前回の委員会(29.11.16)での見通し	実績(2月下旬時点)
<p>ねぎ (11～2月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 台風の影響で、年内は平年を下回る見込み。年明け以降は平年並みを見込むが、寄せ直し作業の遅れ等から平年を下回る可能性がある。</li> </ul> <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋物需要も増加すると見込まれ、また、薬味用のカットねぎが年々伸長していることや、各産地の特徴ある品種が増えて売場面積が増えていることも踏まえ、需要の増加を見込む。</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鍋等の需要が増加すると見込まれる中で、11月及び12月は、出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。1月以降は、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月は、主産地である茨城産が、10月に発生した台風の影響で折れが発生したことから、入荷量は平年をやや下回った。</li> <li>● 12月及び2月は、主産地である千葉産が、10月の台風により葉折れや曲がりなどの下級品が増加したことから、入荷量は平年をかなりの程度下回った。</li> <li>● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:91%)</li> </ul> <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 11月から2月は、平年を大幅に上回った。 (11月～2月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:130%)</li> </ul>

(参考1) 平成29年産ねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)													期間計
11月			12月			1月			2月				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	108	104	96	86	109	100	90	99	78	101	100	82	96
過去5年平均比	97	97	91	83	97	92	84	103	77	97	89	74	
	103			98			89			95			
	97			91			88			88			

卸売価格対比 (%)													期間計
11月			12月			1月			2月				
	上旬	中旬	下旬										
前年比	108	109	80	88	97	94	91	92	76	73	86	73	113
過去5年平均比	130	124	150	139	121	119	128	126	140	150	131	153	
	102			108			116			129			
	126			125			131			143			

(参考2) 平成29年産ねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター